
中国地域産学官コラボレーションセンター 主要活動報告

平成22年 6月 8日
第10回 中国地域産学官コラボレーション会議

平成21年度 活動報告

1. 地域イノベーションの新たな展開へ向けての取り組み

- ①アクションプランの総括とポストアクションプランの検討
- ②産学官連携に関する企業意識調査の実施
- ③中国地域産学官連携商品集の作成

2. 新たな産業の中核となる大学発ベンチャーの創出・育成

- ④キャンパスベンチャーグランプリ中国の開催

3. 産学官連携活動の支援

- ⑤中国地域産学官コラボレーションシンポジウムの開催
- ⑥産学官連携関連事業の継続に関する要望活動
- ⑦広域連携(大学間連携)の推進
- ⑧インテレクチャル・カフェの開催

①アクションプランの総括とポストアクションプランの検討

産学官連携マスタープラン(H14~16年度)

産学官コラボレーション会議設置

※参加機関数:75機関(H21年度)

産学官連携アクションプラン(H17~21年度)

①地域プロジェクトに貢献する産学官共同研究実用化の推進

事業化による売上高:累計【100億円】突破, 共同・受託研究の件数【2割増】・金額【4割増】

②新たな産業の中核となる大学発ベンチャーの創出・育成と産学共同事業の企業化

大学発ベンチャーの設立件数【5割増】, 売上高【倍増】

③イノベーションを担う人材の育成・誘致

④地域の強みを生む知的創造サイクルの形成

特許出願公開の件数【7倍増】 (ロイヤリティ等収入:約1億円/年)

⑤産と学を結ぶコーディネート機能の強化と定着 コーディネーターの人数【約170名】

⑥地域を支えるイノベーションへの円滑な資金供給 地域ファンドの創成【3倍増230億円】

⑦産学官連携活動の強力な支援体制の整備

地域イノベーション創出共同体(40機関)・産学官連携コンソーシアム(20大学)の形成

・アクションプラン5年間における各機関による産学官連携の成果は十分

⇒今後は, 参加機関個々の活動から, 連携組織による活動へ軸足を移し, 一層の広域的な連携に積極的に取り組む(ポストアクションプラン)

②産学官連携に関する企業意識調査の実施

中国地域における産学官連携の促進に関する企業意識調査

【目的】 中国地域の企業を対象に、産学官連携への意識の現状・課題について調査することによって、これまでの連携推進活動の有用性や課題を検証すると共に、今後の活動の更なる促進に資する。

【実施時期】 平成21年5月

【調査対象】 中国地域の製造業を中心とした企業

発送：1,968社、回答：457社

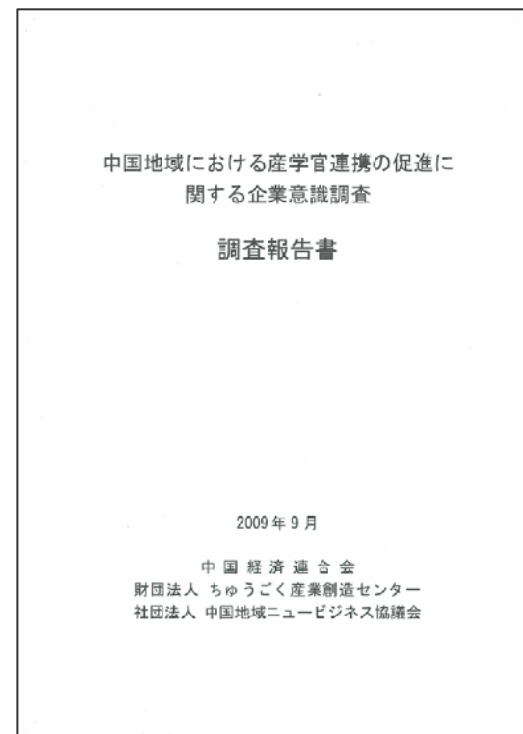
(有効回答率：23.2%)

【調査項目】

- (1) 産学官連携の実績
- (2) 産学官連携に関する意識
- (3) 産学官連携に関するサイト
- (4) 大学・研究機関の産学官連携への取り組みの評価



調査結果を踏まえて今後の課題・方策を整理するとともに、産学官連携の関係機関に報告書を配布して広く情報を共有



③中国地域産学官連携商品集の作成

瀬戸内・山陰の知産品ガイドブック

【目的】 マスタープラン／アクションプラン総括の一環として、産学官連携活動によって開発・商品化された事例を取りまとめるとともに、中国地域発の産学官連携商品を広く世間に紹介し、今後の産学官連携による地域の競争力強化に資する。

【掲載商品数】 合計：162品

(内訳) 食品：45, 生活：31, 工業：48, 医薬・医療・介護：29, その他：9



**[地球環境にやさしいバイオプラスチック]
射出成形自動車部品向けポリ乳酸複合化材**

将来の資源循環型社会の構築に向けて、植物由来によるカーボンニュートラルなバイオプラスチックを広島県内の産学官と連携することで、自動車部品へ適用可能な材料として開発しました。この材料は、80%以上の高い引強度を維持しながら、熱や衝撃に強く、美しい外観を持った射出成形が可能です。

商品概要

- ・2009年3月リリース販売開始のプレマシー水素REハイブリッド車の内装部品（写真参照）
- ・日刊工業新聞社主催第一回モノづくり連携大賞NEDO賞受賞

関係機関・研究者

広島大学（佐藤孝彦准教授）、巨川コム工業㈱、広島県立総合技術研究所（大塚俊彦部長他）、近畿大学工学部（杉山一彦教授、白石浩平教授）、（財）産学官連携研究会（家原浩志会長他）、ダイキョーニシカワ㈱、東三本製粉㈱、カスハラケミカル㈱、マナック㈱、ひろしま産業技術振興機構、マツダ㈱

問い合わせ

マツダ技術研究所
TEL 082-565-2470

プレマシー水素 REハイブリッド車



適用内装部品
(ダッシュボード、シフトパドル、フロントコンソール、ドアパネル)



<掲載商品の一例>

**瀬戸内・山陰の
知産品ガイドブック**
(中国地域産学官連携商品集)
中国地域産学官コラボレーション会議



<表紙>

④ キャンパスベンチャーグランプリ中国の開催

第8回 キャンパスベンチャーグランプリ(CVG)中国

【目的】 学生のビジネス・起業家精神を高揚し、創造性・チャレンジ精神に富む人材の育成を図る。

【表彰】 11件（応募件数：18校・82件）

賞	テーマ	受賞者氏名・学校名
グランプリ (中国経済連合会会長賞)	垂れない醤油注し	徳山工業高等専門学校 森岡佑太
新技術部門 優秀賞	レーザレンジファインダによる全 自動駐車システムの開発・販売	広島市立大学大学院 位田耕基, 他3名
情報通信部門 優秀賞	作曲Daヴィンチ ～新作曲インターフェイス～	松江工業高等専門学校 松村元治, 他4名
環境・健康・福祉部門 優秀賞	手の不自由な人のための足用 キーボード	徳山工業高等専門学校 山根健輔
特別賞 (日刊工業新聞社賞)	新感覚チョコレート・フォンデュ 専門店「mon ami」	安田女子大学 大宮千寿江, 他3名
特別賞 (中国経済産業局長賞)	エコ活動サポートWebページ	松江工業高等専門学校 島孝浩, 他2名

その他 奨励賞:2件, 佳作:3件

グランプリ受賞



(垂れない醤油注し)

⑤中国地域産学官コラボレーションシンポジウムの開催

地域イノベーション創出2009 in とっとり ～「ど真ん中」中国地域を元気発信地へ！～

【目的】 中国地域の産学官連携活動を加速することを目的に、関係機関の活動報告や情報・意見交換を行うため、毎年1回シンポジウムを開催する。

【日時】 平成21年 6月30日(火)～ 7月1日(水)

【場所】 とりぎん文化会館（鳥取市）

【参加者】 約400名
(産:164名, 学:147名, 官:105名)

【主な内容】

- 中国地域の産業クラスター活動事例紹介
- 鳥取県の産学官連携取り組み事例発表
- 中国地域の国立5大学による産学官連携
パネルディスカッション
- 中国地域産学官コラボレーション会議
- 中国地区高専テクノ・マーケット(併催)



⑥産学官連携関連事業の継続に関する要望活動

【目的】 行政刷新会議「事業仕分け」の結果，地域科学技術振興・産学官連携事業の廃止が決定したことを受け，所管省庁に対して事業の継続を要望する。

中国地域産学官コラボレーション会議（有志一同） （合計：47機関）

<対象事業>

- ①産学官連携戦略展開事業
- ②知的クラスター創成事業及び都市エリア産学官連携促進事業等
- ③地域イノベーション創出総合支援事業

<要望事項>

・上記3事業の継続実施（予算措置への配慮）

（理由）中国地域産学官コラボレーション会議の参加機関の多くが使用する極めて重要な支援ツールであり，これらが廃止となると，中国地域における産学官連携活動に多大な影響を及ぼすことが懸念されるため

文部科学省

（文部科学副大臣・文部科学大臣政務官）

⑦広域連携(大学間連携)の推進

「中国地域5大学連携実務者会議」の設置・開催

【目的】 中国地域の5国立大学法人が大学間連携を図り、広域的かつ新たな産学官連携活動を進めることにより、教育・研究レベルの向上及び地域産業の活性化に貢献する。

- 【経緯】**
- ①産学官連携に関して大学間で連携していくことを5大学長が合意
～産学官連携による地域イノベーション創出シンポジウムinちゅうごく(H20. 6. 2)～
 - ②連携テーマ案の紹介を行い実務者会議によって連携事業の実行を決定
～地域イノベーション創出2009inとっとり(H21. 7. 1)～

【主な内容】

- ・各大学の産学官連携機構長クラス、中国経済連合会、中国経済産業局をメンバーとする「5大学実務者会議」を設置
- ・実務者会議を開催(第1回:H21. 11. 17, 第2回:H22. 2. 5)

<H22年度事業計画>

連携実施テーマを提案した大学が事務局となって連携事業を実施
(テーマ) 共同研究プロジェクトの実施, 大都市圏・海外等における研究
シーズ発表会, 産学官連携コーディネータのネットワーク事業 等

⑧ インテレクチャル・カフェの開催

インテレクチャル・カフェ広島

【目的】 広島地域における大学の若手研究者と、産業界・金融機関・行政等が交流し、新技術・新製品の開発や新事業を生み出すネットワークを形成することを目的として、交流会「インテレクチャル・カフェ」を定期的を開催する。

【開催状況】

【県立広島大学】	平成21年 8月 5日(水)	ひろしまハイビル21
【近畿大学工学部】	平成21年10月23日(水)	NTTクレドホール
【広島工業大学】	平成22年 1月13日(水)	ひろしまハイビル21



<話題提供>



<交流会>



<シーズ展示>

平成22年度 活動計画

1. 地域イノベーションの新たな展開へ向けての取り組み

①ポストアクションプランの策定と推進

2. 新たな産業の中核となる大学発ベンチャーの創出・育成

②キャンパスベンチャーグランプリ中国の開催

3. 産学官連携活動の支援

③中国地域産学官コラボレーションシンポジウムの開催

④中国地域産学官連携功労者の表彰

⑤広域連携(大学間連携)の推進

⑥インテレクチャル・カフェの開催

①ポストアクションプランの策定と推進

産学官連携マスタープラン(H14～16年度)



産学官コラボレーション会議設置

※参加機関数:75機関(H21年度)

産学官連携アクションプラン(H17～21年度)

今後の活動方針(案)

・コラボレーション会議における産学官連携活動は、更なる成功事例の輩出と取り組みの高度化を図るため、これまでのような個々の組織の活動に留まることなく、一層の広域的な連携に積極的に取り組む。

(今後もアクションプランを参考に産学官連携活動を進めていくが、重点的に取り組むべきテーマとして、以下のスローガンと行動指針を掲げ、参加機関相互の連携を推進する。)

【重点取り組みテーマ】

○スローガン 「組織を越えて連携しよう！」

○行動指針

- (1) 連携グループの形成・強化
- (2) 共用化と交流の促進
- (3) 発信力の強化

② キャンパスベンチャーグランプリの開催

第9回 キャンパスベンチャーグランプリ(CVG)中国

【目的】 学生のビジネス・起業家精神を高揚し、創造性・チャレンジ精神に富む人材の育成を図る。

【運営体制】

＜主催＞ キャンパスベンチャーグランプリ(CVG)中国実行委員会
【実行委員長】福田 督（中国経済連合会 会長）

＜共催＞ 中国経済連合会，中国地域産学官コラボレーション会議，中国四国産業人クラブ，日刊工業新聞社



2009 学生による新事業の提案コンテスト
キャンパスベンチャーグランプリ
応募期間 2009年9月1日(火) → 10月31日(土) 大賞 100万円
CVG キャンパスベンチャー
事業化・起業家に
挑戦!
第8回 キャンパスベンチャーグランプリ 中国 Chugoku Area

The poster features a yellow background with blue and red text. It includes an illustration of a man in an orange jacket looking at a woman reading a book, with a globe and a laptop in the background. A gold medal icon with '100万円' is also present.

③中国地域産学官コラボレーションシンポジウムの開催

地域イノベーション創出2010 in ひろしま

【目的】 中国地域の産学官連携活動を加速することを目的に、関係機関の活動報告や情報・意見交換を行うため、毎年1回シンポジウムを開催する。

【日時】 平成22年 6月7日(月)～8日(火)

【場所】 広島県民文化センター大ホール (広島市)

【主な内容(予定)】

- 講演
- 基調講演
- 国立5大学連携パネルディスカッション
- 産学官連携事例発表会
- 中国地域産学官コラボレーション会議
- 中国地域産学官連携功労者表彰



④中国地域産学官連携功労者の表彰

第4回 中国地域産学官連携功労者表彰

【目的】 産学官連携活動において大きな成果を収め、また、先導的な取組を行うなど、当該活動の推進に多大な貢献をした事例（もしくは将来期待できる事例）に関し、その功績を表彰することにより、更なる産学官連携活動の活性化を図る。

【表彰式】 平成22年6月8日（火）

※中国地域産学官コラボレーションシンポジウムの中で実施

【対象(カテゴリ)】

- ①企業等と大学等との共同研究・受託研究など、又は大学等の研究成果である特許・ノウハウの企業等への技術移転による成果の事例
- ②大学等の研究開発成果を活用したベンチャー創出等の成果の事例
- ③産学官連携コーディネータ、および機関の活動成果の事例
- ④その他、産学官連携による優れた成果の事例



⑤広域連携(大学間連携)の推進

「中国地域5大学連携による産学官連携事業」の推進

【目的】 中国地域の5国立大学法人が大学間連携を図り、広域的かつ新たな産学官連携活動を進めることにより、教育・研究レベルの向上及び地域産業の活性化に貢献する。

【基本方針】

<連携事業の進め方>

- ・個別の連携事業を提案した大学が事務局となって事業を実行する。
※連携事業の推進にあたっては、中国地域産学官コラボレーションセンターの中核機関である中国経済連合会・中国経済産業局と連携する。
- ・平成22年度末に実施状況の評価を行い、次年度以降の実施方針の検討・見直しを行う。

<連携事業のテーマ(案)>

- ・共同研究プロジェクトの実施
- ・大都市圏, 海外等における研究シーズ発表会
- ・産学官連携コーディネータのネットワーク事業 等

⑥ インテレクチャル・カフェの定着化

インテレクチャル・カフェ広島

【目的】 大学の若手研究者と、産業界・金融機関・行政等が交流し、新技術・新製品の開発や新事業を生み出すネットワークを形成することを目的に、H20～21年度にかけて計6回開催してきた交流会「インテレクチャル・カフェ広島」を定例的に開催することにより、定着化を図る。

<H20年度>

広島大学(霞キャンパス・東広島キャンパス), 広島市立大学

<H21年度>

県立広島大学, 近畿大学(工学部), 広島工業大学

<H22年度>各大学1回ずつ(計5回)開催予定

